



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7989 URL <http://www.blind.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)立川 光威
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)竹中 伸也 TEL 03-5484-6142
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月7日 配当支払開始予定日 平成24年9月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	18,913	4.8	961	18.2	981	16.2	352	△5.4
23年12月期第2四半期	18,047	△3.3	814	52.3	845	43.1	372	155.2

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 459百万円(16.0%) 23年12月期第2四半期 396百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	18.13	—
23年12月期第2四半期	19.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	44,177	30,786	60.5
23年12月期	43,425	30,446	60.8

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 26,708百万円 23年12月期 26,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年12月期	—	5.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,900	4.6	1,690	9.2	1,650	4.0	590	△3.6	30.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年12月期 2 Q	20,763,600株	23年12月期	20,763,600株
24年12月期 2 Q	1,300,453株	23年12月期	1,300,285株
24年12月期 2 Q	19,463,265株	23年12月期 2 Q	19,463,726株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、欧州における政府債務危機や長期化する円高の影響など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、住宅着工戸数は持ち直しの動きが見られるものの低水準で推移し、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況でありました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、製品ラインナップの拡充や新たな販促物を投入し、売上の拡大を図るとともに、引き続き節電対策を含めたコスト低減活動や将来の市場開拓に向けた海外展示会への出展等にも取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である「くし歯式駐車場装置パズルタワー」の全面見直しに向けた取り組みに着手するとともに、改造・改修工事の営業活動を強化し、受注の拡大と安定した利益確保に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、産業用機械向け販売を中心にマーケティング活動を強化し、お客様の要求を満たす製品の開発・設計に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は18,913百万円(前年同期比4.8%増)、営業利益は961百万円(前年同期比18.2%増)、経常利益は981百万円(前年同期比16.2%増)、四半期純利益は352百万円(前年同期比5.4%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

窓まわりのトータルコーディネートを提案するため、ライフスタイルごとに多彩なコーディネートを紹介した販促物「ウィンドウ コーディネートブック」を作成し新たな提案活動を行うとともに、新製品では、ロールスクリーン「ラルク」などファブリック5製品に高機能でカラフルな人気のカラーシリーズ「マカロン」の遮光生地10色を追加発売するなど製品ラインナップの拡充を図りました。

また電力節減の需要に対応した製品として、優れた採光性で照明の消費エネルギーを削減する「グラデーションブラインド」を本格発売しました。さらにカーテンレールにおいては、優れた静音性と高い省エネ性を実現した電動カーテンレール「シエルド50」を発売しました。

また、今夏節電にも効果のあるアルミ製ブラインドの遮熱コートスラットやファブリック製品の遮熱生地など省エネ製品の訴求に努め、「窓からエコライフキャンペーン」を実施し売上向上に取り組ましました。

このほか、今後の海外事業展開の布石として、ドイツで開催された業界最大級のシャッター・ブラインド・門扉の国際見本市「R+T2012」に出展し、日本製品のブランド知名度向上に取り組んでまいりました。

以上により、売上高は16,253百万円(前年同期比4.4%増)となり、営業利益につきましては、売上高の増加により、829百万円(前年同期比11.8%増)となりました。

[駐車場装置関連事業]

新規物件の販促活動に加え、保守ならびに改造・改修工事において積極的な提案型営業を展開したことにより受注が堅調に推移し、売上高は1,233百万円(前年同期比25.4%増)となりました。営業利益につきましては、売上高の増加に加え、継続的な原価低減に努めた結果、87百万円(前年同期は6百万円の利益)となりました。

[減速機関連事業]

首都圏で開催された展示会に出展し、お客様のニーズの把握と製品認知度の向上を図るなど特殊減速機を中心に積極的な販促活動を展開いたしましたが、厳しい受注環境にあり、売上高は1,425百万円(前年同期比5.0%減)となりました。営業利益につきましては、原価低減と生産性の向上に努めましたが、売上高の減少により、44百万円(前年同期比31.9%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は44,177百万円で、前連結会計年度末と比較し751百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は26,786百万円で、前連結会計年度末と比較し558百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が減少した一方で、受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は17,390百万円で、前連結会計年度末と比較し192百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産の取得と保有株式の時価の上昇等により投資有価証券が増加したことによるものであります。

(負債)

負債は13,390百万円で、前連結会計年度末と比較し411百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産の取得に伴い設備支払手形が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は30,786百万円で、前連結会計年度末と比較し339百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加および四半期純利益によるものであります。なお、自己資本比率は60.5%と、前連結会計年度末と比較し、0.3ポイントの減少となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ50百万円減少し、8,155百万円となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、260百万円の増加(前年同期は382百万円の増加)となりました。

これは税金等調整前四半期純利益913百万円に対し、法人税等の支払額372百万円、たな卸資産の増加額353百万円、売上債権の増加額279百万円等による減少があった一方で、減価償却費428百万円等による増加があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、174百万円の減少(前年同期は289百万円の減少)となりました。

これは主に、有形固定資産の売却による収入155百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出280百万円、無形固定資産の取得による支出87百万円等があったことによるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、140百万円の減少(前年同期は128百万円の減少)となりました。

これは主に、配当金の支払い119百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、東日本大震災の復興需要等を背景に景気回復の動きが確かなものとなることが期待されますが、海外経済の減速や電力供給の制約、デフレ影響など景気を下押しするリスクが存在し、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、引き続きお客様の多様なニーズに応えるため、製品ラインナップの拡充や省エネ関連製品の開発など、さらなる売上向上及び収益確保に努めてまいります。

これらを踏まえ、平成24年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において平成24年2月10日に公表しました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,296,329	8,205,524
受取手形及び売掛金	11,735,415	12,118,261
商品及び製品	731,265	757,062
仕掛品	1,280,026	1,364,974
未成工事支出金	173,637	231,243
原材料及び貯蔵品	2,862,042	3,049,356
その他	1,186,394	1,098,185
貸倒引当金	△37,083	△38,191
流動資産合計	26,228,026	26,786,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,708,677	12,331,140
減価償却累計額	△7,907,777	△7,690,552
建物及び構築物(純額)	4,800,899	4,640,588
土地	7,384,285	7,314,565
その他	13,210,814	13,709,772
減価償却累計額	△12,019,445	△12,188,220
その他(純額)	1,191,369	1,521,551
有形固定資産合計	13,376,554	13,476,705
無形固定資産	266,709	357,717
投資その他の資産		
投資有価証券	1,149,090	1,235,713
その他	2,548,271	2,385,651
貸倒引当金	△142,946	△65,178
投資その他の資産合計	3,554,415	3,556,186
固定資産合計	17,197,680	17,390,608
資産合計	43,425,706	44,177,025

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,681,527	6,664,889
未払法人税等	352,461	365,100
賞与引当金	179,317	220,141
役員賞与引当金	48,660	26,803
製品保証引当金	671	3,955
その他	1,800,465	2,265,300
流動負債合計	9,063,104	9,546,190
固定負債		
退職給付引当金	3,529,875	3,421,265
役員退職慰労引当金	278,331	272,456
その他	107,562	150,309
固定負債合計	3,915,768	3,844,031
負債合計	12,978,872	13,390,221
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,000	4,395,000
利益剰余金	18,377,168	18,632,710
自己株式	△666,077	△666,152
株主資本合計	26,581,090	26,836,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△162,965	△100,125
繰延ヘッジ損益	631	849
為替換算調整勘定	△34,007	△29,094
その他の包括利益累計額合計	△196,341	△128,370
少数株主持分	4,062,084	4,078,616
純資産合計	30,446,833	30,786,804
負債純資産合計	43,425,706	44,177,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	18,047,707	18,913,075
売上原価	10,416,033	11,014,437
売上総利益	7,631,674	7,898,638
販売費及び一般管理費	6,817,593	6,936,714
営業利益	814,081	961,924
営業外収益		
受取利息	1,379	1,527
受取配当金	20,467	22,070
不動産賃貸料	21,650	18,651
その他	45,172	37,270
営業外収益合計	88,670	79,519
営業外費用		
支払利息	151	8
手形売却損	9,984	15,614
売上割引	36,138	36,632
その他	11,411	7,569
営業外費用合計	57,686	59,824
経常利益	845,065	981,618
特別利益		
固定資産売却益	916	35,724
貸倒引当金戻入額	2,723	—
特別利益合計	3,640	35,724
特別損失		
固定資産除売却損	3,430	36,572
減損損失	—	60,828
投資有価証券評価損	26,208	6,810
投資有価証券売却損	—	15
会員権評価損	233	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,300	—
特別損失合計	31,172	104,226
税金等調整前四半期純利益	817,533	913,117
法人税、住民税及び事業税	333,731	384,211
法人税等調整額	85,168	134,240
法人税等合計	418,900	518,451
少数株主損益調整前四半期純利益	398,633	394,665
少数株主利益	25,808	41,806
四半期純利益	372,824	352,858

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	398,633	394,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,124	60,143
繰延ヘッジ損益	1,717	217
為替換算調整勘定	4,103	4,912
その他の包括利益合計	△2,303	65,274
四半期包括利益	396,329	459,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	375,335	420,829
少数株主に係る四半期包括利益	20,994	39,109

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	817,533	913,117
減価償却費	398,468	428,883
負ののれん償却額	△711	△711
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,995	40,823
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24,198	△21,857
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,133	△108,609
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△11,240	△5,874
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△3,600	3,283
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8,196	△76,660
固定資産除売却損益 (△は益)	2,513	847
減損損失	—	60,828
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,300	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	26,208	6,810
会員権評価損	233	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	15
受取利息及び受取配当金	△21,847	△23,597
支払利息	151	8
為替差損益 (△は益)	2,335	△2,424
売上債権の増減額 (△は増加)	621,539	△279,510
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△829,675	△353,993
仕入債務の増減額 (△は減少)	235,991	40,268
その他	△228,015	△12,216
小計	981,928	609,432
利息及び配当金の受取額	21,875	23,548
利息の支払額	△158	△13
法人税等の支払額	△621,224	△372,156
営業活動によるキャッシュ・フロー	382,421	260,810
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△287,491	△280,720
有形固定資産の売却による収入	37,787	155,055
無形固定資産の取得による支出	△20,256	△87,766
投資有価証券の売却による収入	—	403
投資有価証券の取得による支出	△30,285	△297
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	548	△1,289
定期預金の純増減額 (△は増加)	9,987	40,345
投資活動によるキャッシュ・フロー	△289,709	△174,270
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△7,769	△21,089
配当金の支払額	△98,223	△97,534
少数株主への配当金の支払額	△22,377	△22,133
その他	△60	△101
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128,430	△140,858

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△333	3,859
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△36,051	△50,459
現金及び現金同等物の期首残高	7,208,551	8,205,721
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,172,499	8,155,261

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	15,563,581	983,916	1,500,210	18,047,707	—	18,047,707
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	25,726	25,726	△25,726	—
計	15,563,581	983,916	1,525,937	18,073,434	△25,726	18,047,707
セグメント利益	742,020	6,654	65,406	814,081	—	814,081

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,253,726	1,233,588	1,425,761	18,913,075	—	18,913,075
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	47,535	47,535	△47,535	—
計	16,253,726	1,233,588	1,473,296	18,960,611	△47,535	18,913,075
セグメント利益	829,498	87,900	44,524	961,924	—	961,924

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。